

社会資本総合整備計画

三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画
(第1回変更)

島根県雲南市

平成28年12月
平成30年8月

上段:当初
下段:第1回変更

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年8月

計画の名称	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成29年度	～	平成33年度（5年間）	交付対象	雲南市
計画の目標					

当該地区は市の中心に位置し、中国横断自動車道の三刀屋木次ICに隣接しているため商業施設の集積を誘導する可能性が高い区域であるが、市内の消費総額の内約37%が隣接する松江市・出雲市へ流出している状況であり、本地区を中心とした中心市街地エリアの賑わい再生が喫緊の課題である。このことから、平成28年11月29日認定の中心市街地活性化基本計画に基づき、道路、広場、公共交通等の都市基盤施設の充実を図り、民間事業による老朽化した商業施設の改修、個性的で専門性の高い商業施設の集積、ビジネスホテル整備事業と協働することで、賑わいと魅力あふれる市の顔を実現したい。

計画の成果目標（定量的指標）

都市再生整備計画区域内において、各種都市基盤施設の充実を図り、民間事業との協働を行うことでイベント年間入込客数を70%以上増加させ10,000人/年とするとともに、中心市街地の賑わい満足度を約6%上昇させ53%とし、中心市街地エリアの居住人口についても人口増加傾向を維持することを目標とする。また、都市基盤整備に併せ、中心市街地エリアへの公共交通計画を見直すことで公共交通ネットワーク満足度向上を約4%向上させ49%とすることを目標とし、賑わいと魅力あふれる空間の創出を図ることを目標とする。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考				
	当初現況値	中間目標値	最終目標値					
	(H27年度)		(H33年度)					
イベント（まめなカー市）開催により、市街地への来訪者（交流人口）の増加を目指す。	5,800人/年		10,000人/年					
市街地整備による居住環境の向上により、中心市街地の人口増加傾向維持を目指す。	2,051人		2,094人					
市街地整備により拠点性を高め、利便性・快適性の向上を図ることで、来訪者の満足度向上を目指す。	47.8%		53.0%					
中心市街地と周辺地域を結ぶデマンド型乗合タクシー等を充実させることで、利用者の満足度向上を目指す。	45.3%		49.0%					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	620.0百万円	A	620.0百万円 (内提案事業分 3.0百万円)	B	C	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	都市再生	一般	雲南市	直接	雲南市	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画事業	地域生活基盤施設等 A=9ha	雲南市						620.0	—	—	
合計													620.0				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計													0				

C 効果促進事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計									0						
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	H31	H32	H33		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

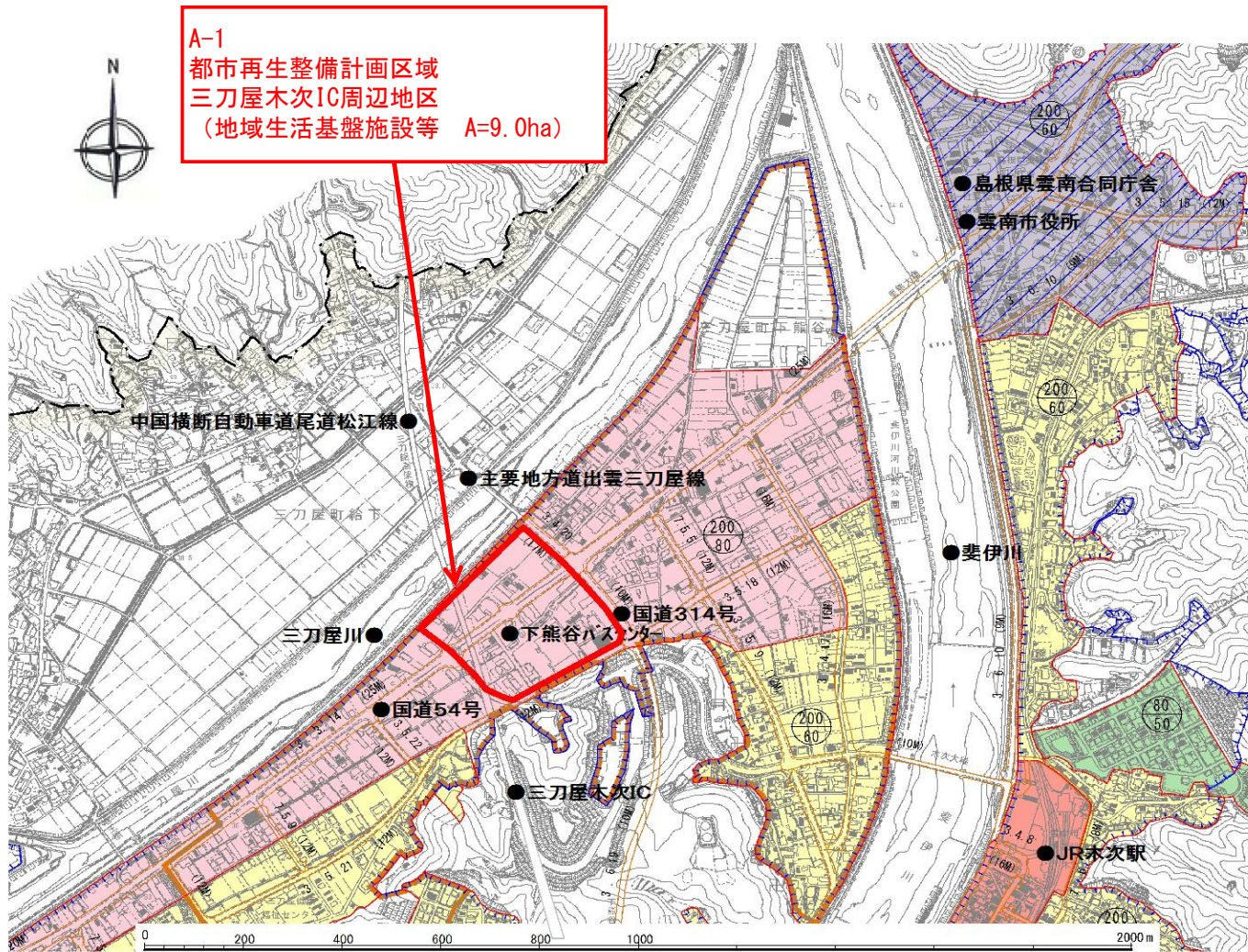
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	109.9	83.2	2.0		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	109.9	83.2	2.0		
前年度からの繰越額 (d)	0	12.2	0		
支払済額 (e)	97.7	95.4			
翌年度繰越額 (f)	12.2	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0%	0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	三刀屋木次IC周辺地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)	交付対象	雲南市



A-1
 都市再生整備計画区域
 三刀屋木次IC周辺地区
 (地域生活基盤施設等 A=9.0ha)

凡 例			
都市計画区域			
用途地域	建ぺい率 (%)	容積率 (%)	面積 (ha)
第一種低層住居専用地域	50	80	約6.8
第一種住居地域	40	60	約10.0
第二種住居地域	60	200	約296.7
準住居地域	60	200	約4.7
近隣商業地域	60	200	約2.3
商業地域	80	200	約171.4
商業地域	80	400	約17.0
準工業地域	60	200	約100.0
工業地域	60	200	約45.0
工業専用地域	60	200	約30.0
都市計画道路			
都市計画公園			
都市計画下水路			
都市計画下水路集水区域			
都市計画下水道処理区域 (汚水)			
都市計画下水道処理区域 (雨水)			
都市計画ごみ処理場			
浄化センター			
土地区画整理事業			
形態規制			
大規模集客施設制限地区			

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

社会資本総合整備計画

都道府県名: 島根県雲南市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域の整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○